

令和6年度事業推進の重点

公益財団法人京都府スポーツ協会は、「生涯スポーツ社会」と「もっと元気な京都のスポーツ」及び「輝け・強く・心躍る京都のスポーツ」の実現を期するため、京都府スポーツセンターを活動の拠点として、府民スポーツの振興並びに競技力の向上のため京都府総合計画及び第2期京都府スポーツ推進計画（仮称）に基づき、その具現化を図り本府スポーツの一層の充実・発展に努める。JSP0 中期計画 2023-2027 および本会創設 100 周年を踏まえ、京都府スポーツの在り方について検証し、今後のスポーツ振興について協議を進める。

重点事項

1 運営基盤の整備並びに京都府スポーツセンター機能の充実

- (1) 府民スポーツの総合的センターとして財源を確保するとともに、加盟団体の充実・発展を支援し、組織全体の活性化とガバナンス機能の充実に努める。
- (2) 総合型地域スポーツクラブを支援する広域スポーツセンター機能の充実に努める。
- (3) スポーツ・ガバナンスコードに基づき、自己評価を適切に行い、広く公表するとともにスポーツ・インテグリティ向上委員会のもと加盟団体に対してもその推奨を行う。
- (4) 各種委員会の活動を活発に行い、広い見地からスポーツ推進を図る。
- (5) 公益財団法人日本スポーツ協会との連携を深め、事業活用拡大等に努める。

2 府民スポーツの振興

- (1) 地域加盟団体との連携を深め、地域の課題解決に向けたスポーツ振興に取り組む。
- (2) 京都府民総合体育大会の充実をはじめ、府民の生涯スポーツの振興を推進する。
府民総体マスターズ部門およびワールドマスターズゲームズへの参加促進等、ライフステージやライフスタイルに応じた運動・スポーツを推進し、地域の絆づくりを進める。
- (3) 多様化する府民のスポーツ活動に相応し、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の理解を深めるとともに、クラブが地域のコミュニティの創造と活力あるまちづくりに寄与するよう体制構築に努める。
- (4) 府民スポーツの一層の振興を図るため、京都に本拠地のあるプロスポーツ団体との連携を推進する。
- (5) ボランティア活動を含め、府民の「する」「みる」「ささえる」スポーツの実践を支援し、自発的なスポーツ関連の行動を誘う。

3 競技力の向上

- (1) 国民スポーツ大会をはじめとする全国的大会等において好成績を収めるため選手および指導者の育成と競技力向上のために研修会等の充実に努める。
- (2) スポーツの価値やアスリートを取り巻く健全な環境を構築するためアンチ・ドーピング教育・啓発活動を展開する。

4 指導者の資質向上と育成

- (1) 生涯スポーツの振興並びに競技力の向上に必要な指導者を育成するとともに、その資質向上に努める。
- (2) 指導者の組織充実を図り、スポーツにおけるインテグリティ向上を追求し、暴言・暴力等の根絶に向けた取組やJSP0がすすめるNo!スポハラ活動に賛同しその活動を進める。

5 スポーツ少年団の育成と拡充

- (1) 青少年にスポーツ活動の基本を学ばせるとともに、スポーツ活動を通して「生きる力」を培わせる諸事業を展開し、地域社会のスポーツ活動の核となる少年団活動を支援する。
- (2) 市町村スポーツ少年団本部の育成に努めるとともに、単位団活動の活性化を支援する。
- (3) 指導者・登録制度の改定に伴い、指導者の育成に努めるとともに、専門部組織の拡充を支援する。
- (4) 近畿ブロックスポーツ少年団「剣道交流大会」等の開催により、運営力の向上および参加する青少年の健全な育成に寄与する。

6 関係機関・団体等への協力・支援

- (1) 各種大会等への協力
- (2) スポーツ安全保険の加入促進および普及・安全指導・事故防止啓発事業の推進

7 その他

- (1) 府民のスポーツへの誘いとして、活発な広報活動を展開する。
- (2) ペーパーレス等、環境に配慮した運営を展開するために事務作業の見直しを行う。
- (3) その他、本会の目的を達成するため、必要に応じ特別事業を行う。
- (4) 感染防止対策や出張費削減及び時間有効活用等に配慮しWEB会議の積極的導入を図る。